社会生活の自立度評価（SIM）　　実施日：R7年10月

	項目			R7.10	R7.7	R7.4	R7.1	R6.10	R6.7	備　考
				平均	平均	平均	平均	平均	平均	
毎日の社会生活を維持するための項目	1．健康管理		必須	4.8	4.9	5.1	5.0	4.8	4.8	
	2．金銭管理		必須	4.0	4.3	4.6	4.5	3.9	4.1	
	3．身の回りの管理		必須	5.8	6.0	5.9	6.4	6.2	5.9	
	4．買い物（買い物先までの移動を除く）		必須	5.8	5.7	6.4	6.5	5.9	5.6	
	5．家事活動（調理含まず）		選択	6.2	5.2	6.1	5.9	5.2	4.9	
	6．調理		選択	5.0	4.4	4.6	5.0	4.5	4.4	
	7．生活のセルフマネジメント		必須	4.5	4.5	4.6	4.6	4.4	4.4	
社会の一員として積極的に参加するための項目	8	（1）公共交通機関を利用しての外出	1つを選択	5.5	5.7	6.5	7.0		5.6	
		（2）自動車の運転								
	9．人間関係		必須	3.9	3.6	4.3	3.7	3.3	3.5	
	10．仕事/学校		選択	5.6	5.2	5.4	5.2	5.0	5.1	
	11．地域での余暇活動		必須	4.7	3.7	4.9	4.2	3.8	3.5	
	12．日中活動		必須	5.6	5.2	5.5	5.2	5.0	5.1	
共通項目	13．制度・サービス活用		必須	2.7	3.1	3.2	3.1	2.8	2.9	
合計（１０～９１）				62.3	57.8	66.0	63.5	53.5	55.9	

＊除外項目は斜線

1.SIM実施者数：１2名（男性5名、女性7名）　＊新規入所者２名実施
2.平均年齢　　：46.9歳
3.評価結果の分析
・合計点　　最高点：80点　最低点：47点
・項目分析　・「健康管理」「金銭管理」「身の回りの管理」
今回、新規入所者２名の初回評価が含まれているため、前回に比べ点数が低くなっている。
・「買い物」「家事活動」「調理」
各項目の点数が上がっているのは、プログラムでの調理訓練や掃除訓練による家事能力の利用者全体の向上が見られたためと考えられる。
・「公共交通機関を利用の外出」
初めて東京スカイツリーへの外出を訓練として実施した。初めて行く場所の時刻表の確認や経路の判断、乗降場所の理解、料金支払いなどに加え、複数の公共交通機関をスケジュールに組み込んだ外出の流れを体験し、より詳細な評価を反映することができた。
・「人間関係」「仕事/学校」「地域での余暇活動」「日中活動」
社会に積極的に参加するための項目で前回より点数が上がっており、集団生活での生活訓練の積み重ねが活動性の向上や活動範囲の拡大、対人交流の促進に繋がっていると考えられる。